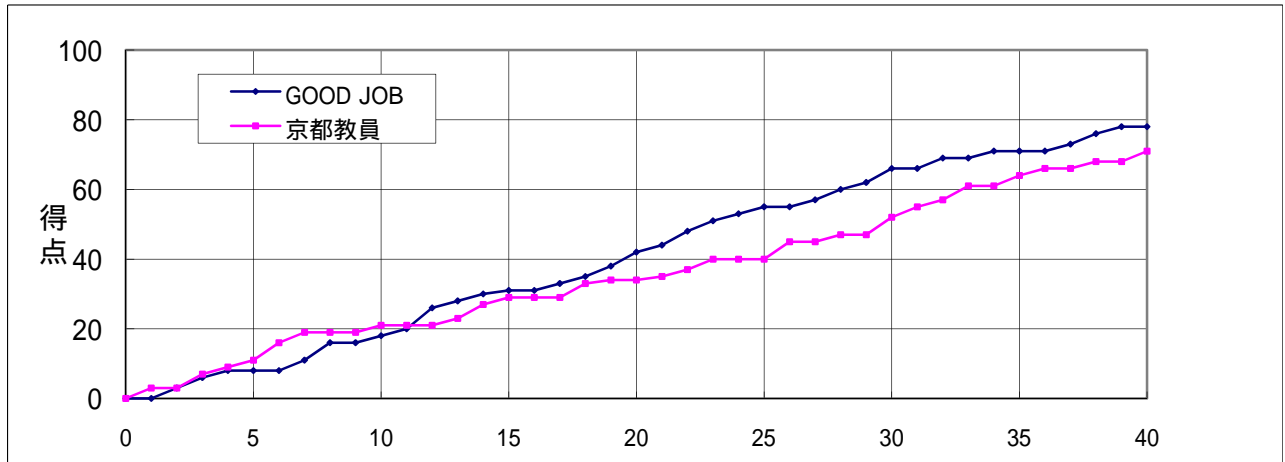


大会名	第48回男子・第40回女子 <b>全日本教員バスケットボール選手権大会</b> 「おいでませ！山口国体バスケットボール競技リハーサル大会」	11E2	11:45	女子準々決勝															
	期日	2010年(平成22年)8月11日(水)	GOOD JOB 78 (東京都)	<table border="1"> <tr><td>18</td><td>-</td><td>21</td></tr> <tr><td>24</td><td>-</td><td>13</td></tr> <tr><td>24</td><td>-</td><td>18</td></tr> <tr><td>12</td><td>-</td><td>19</td></tr> <tr><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> </table>	18	-	21	24	-	13	24	-	18	12	-	19	-	-	-
					18	-	21												
24	-	13																	
24	-	18																	
12	-	19																	
-	-	-																	
会場	下松スポーツ公園体育館	71	京都教員 (京都府)																

主審 有澤優子

副審 松富仁美



タイム・アウト(経過時間)

1Q・2Q	3Q・4Q			OT1	OT2
-	-	26:17	32:55	39:41	-

**GOOD JOB**

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
4	越智 朋子 (C)	6	2	0	0	1	3	0
5	富中 亜貴子	-	-	-	-	-	-	-
6	* 小田 桐朋美	8	0	4	0	3	7	0
7	* 伊藤 奈々	22	4	4	2	3	6	1
8	清水 萌	8	0	4	0	1	6	1
9	* 結城 葉月	7	0	3	1	1	11	5
10	* 葛西 亜季子	27	4	6	3	0	5	0
11	* 石塚 智佳	0	0	0	0	1	5	0
12	志水 麻衣	-	-	-	-	-	-	-
13	田澤 茜	-	-	-	-	-	-	-
14	柿崎 優子	-	-	-	-	-	-	-
15	国保 美紀	-	-	-	-	-	-	-
16	今西 智津子	-	-	-	-	-	-	-
17	小野 里実	-	-	-	-	-	-	-
18	吉宇田 和泉	-	-	-	-	-	-	-
コーチ	八木 陽子	/	/	/	/	/	/	/
合計		78	10	21	6	10	43	7

タイム・アウト(経過時間)

1Q・2Q	3Q・4Q			OT1	OT2
11:38	18:16	27:51	37:00	39:29	-

**京都教員**

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
4	山本 倫子	-	-	-	-	-	-	-
5	若本 昌子	-	-	-	-	-	-	-
6	大口 真寿美	7	2	0	1	2	1	0
7	小畑 真弓	-	-	-	-	-	-	-
8	* 北垣 恵美	12	0	6	0	1	4	0
9	* 山本 浩子	19	1	7	2	2	16	1
10	* 大林 裕子	11	2	2	1	3	6	2
11	折戸 香里	-	-	-	-	-	-	-
12	谷口 真由 (C)	0	0	0	0	0	4	0
13	瀬口 真有美	3	1	0	0	0	0	0
14	* 坂木 美輪	10	2	2	0	1	6	2
15	金井 千晶	-	-	-	-	-	-	-
16	* 寺本 紗失香	9	1	2	2	4	7	2
17	松下 彩	-	-	-	-	-	-	-
18	成宮 未希子	-	-	-	-	-	-	-
コーチ	宮崎 富久	/	/	/	/	/	/	/
合計		71	9	19	6	13	44	7

\*...スターター (C)...キャプテン 3P...3点シュート 2P...2点シュート FT...フリースロー F...ファウル R...リバウンド As...アシスト

**戦評**

両チームともハーフコートマンツーマンでスタート。京都は、#16の3Pで先制、その後も#16や#8を中心に得点を重ねる。東京は、序盤シュートが入らず、なかなか波に乗り切れない。京都は、東京の粘りのディフェンスを前に無理なシュートが目立ち始める。東京は#7や#8のシュートなどで少しずつ差を縮め、18-21京都リードで1Q終了。2Q開始早々、東京は#9のポストプレーや#7の連続3Pなどで逆転。残り8分、26-21東京リードの時点で京都がタイムアウトをとると、京都#9のポストプレーが決まりだす。東京も#7や#8の得点で加点し、42-34で2Q終了。3Q、京都は#10を中心に攻撃するが、東京も#10・#9の活躍で得点を重ね、66-52東京が差を広げて3Q終了。4Qに入ると、東京は、ことごとくシュートを外し、得点が伸びなくなる。一方の京都は、#14の3Pを皮切りに、#9のポストプレー、#10の3Pなどで流れをつかみ、徐々に差を縮める。残り3分、73-66東京7点リードの時点で京都がタイムアウト。京都は3Pでの得点を狙うが、ことごとく決まらず、対する東京は冷静にプレー。最後は78-71で東京が逃げ切って勝利した。両チーム集中力を絶やすことのない、見ごたえのあるゲームであった。

記者	玉木 伸尚 (所属) 山口県バスケットボール協会
----	--------------------------